



Kero Kero 通信

第 275 号



崎山小児科・院内報

3月 2022年

新型コロナウイルス感染症かなと思ったら

新型コロナウイルス感染症が大流行しています。崎山小児科でも1月以降300人以上の患者さんの診断をしました。2年前の流行開始から昨年迄の年末までに崎山小児科で診断した患者数は50人程度でしたから、この2か月ほどの流行は凄まじいものがあります。この流行に伴って、数多く寄せられる質問とその答えをお示ししておきます。

・濃厚接触者となりました。PCR検査をすぐに受けた方がよいですか？

新型コロナウイルス感染症の患者さんとマスクをしない状態で15分以上会話をする、あるいは同居している家族が発症したなどの条件で濃厚接触者とみなされます。ただし、あわてて検査をする必要はありません。検査をして「陰性」が確認できたとしても、感染していないことの証明にはならないので濃厚接触者として1週間、自宅で健康観察をすることに変わりはありません。検査の翌日から症状が出ることもあります。発熱などの症状が出てから検査しても問題ありません。

・熱が出ました。すぐにコロナの検査を受けるべきですか？

高齢者や抗がん剤を使っているなどの基礎疾患がある人を除けば、新型コロナと診断されても、専用の治療薬は使いません。とくに18歳未満の子どもは対症療法として解熱剤を使う程度なので、診断を急ぐ必要はありません。検査の目的は治療のためではなく、「今回の症状の原因が新型コロナウイルスかどうかをはっきりさせるため」だけになります。発症して9日以内であれば抗原検査での結果で診断できると公的なガイドラインに示されています。

・新型コロナに罹りましたが、発症から10日経過しました。明日から登園（登校、入社）する前に念のためのPCR検査は必要ですか？

10日間の健康観察期間が終了した翌日から、登園、登校、入社して大丈夫です。検査は不要です。実は11日目にPCR検査をすると陽性になる人がいることはわかっています。PCR検査は敏感すぎて、人にはうつさない程度の微量なウイルスも見つけてしまうのです。新型コロナウイルスはまだ日本にそれほど入ってきていなかった2年前は、そのようなルールがありました。すでに蔓延している日本の現状を考慮して、行政的な対応が変化したのです。念のために検査を受けることも可能ですが、健康保険は使えません。自費の検査となります。

石けんと汚れ



普段手についた汚れを洗う時、水やお湯で流して洗いますよね。水で流せない汚れには石けんやハンドソープを使いますが、汚れはなぜ石けんを使うと落としやすくなるのでしょうか。そのヒミツは、石けんに含まれる界面活性剤にあります。水で落としづらい汚れには水と混ざりにくい油が含まれていたり、肌は皮脂という油によって守られているため、その油に汚れがのっけていると考えられます。水と油は仲良しではありません。それぞれの分子の大きさや性質が違うので混ざりにくいのです。そこで水と油を仲良くさせるために界面活性剤が一役買ってくれるのです。界面活性剤は水に馴染みやすい部分と油に馴染みやすい部分の二つを併せ持っています。そのため油汚れを包み込んで水の中に溶かし込むことができます。そして手などについた汚れは落ち、ぬるぬるした油なども無くなるのです。ただし、石けんはいらぬ油と必要な脂の区別はできません。そのため、そもそも肌を守ってくれるバリアである皮脂も余分に奪ってしまうことがあります。コロナウイルスの感染対策でももちろん手洗いは必要ですが、体は洋服などで守られているため石けんを使うほどの汚れがない時もあります。お肌の状態や日中の活動具合を見て、石けんを使う部分や使用頻度を検討してみるのもいいのかもしれないですね。

予防接種

・MRワクチンⅡ期-4月から小学校1年生になるお子さんは2022年3月31日が接種期限です。受け漏れのないようにしましょう。

・子宮頸ガンワクチン-小学校6年生～高校1年生の女の子が公費対象です。府中市は経過措置もありますので高校2年生以上の方も



今月のケロケロひろば

新型コロナウイルス感染拡大のため、おやすみとなります。流行が落ち着きましたら再開致しますのでお待ち下さい。